

(銀のエンジェル賞 幼児・小学生低学年の部)

## タコとマグロとカップ

年長・新良 悠介

これはぼくが、おとうさんとおかあさんとかいてんずしにいつたときのおはなしです。

ぼくがだいすきなタコとマグロのおすしをおとうさんがちゅうもんしてくれました。

ちよつとまつと、タコとマグロのおすしがながれてきたので「もうすぐくるぞ！」

と、おはしとしようゆをじゅんびしていたらタコがにげだしました。

「うわーーーーー！」

タコはシャリのうえからジュルツとおりと、いきっているタコにもどつて、マグロのおすしをパクリとのみこみました。

「こらーーー！まてーーー！」

ぼくはタコをおいかけました。

タコはおすしをどんどんたべながらにげました。

ちようどそのとき、きゆうりがすきなカップがおみせにやってきて、

「やめろ！カップまきに、てをだすな！」

と、タコをブシツときってしまいました。

ぼくは、シャリのうえにもどつてきたタコをたべました。

タコは、おいしかったです。